



8月15日

新型コロナウイルス5類に移行注意継続

部員	89名	新入生
U12	16名	
U11	22名	
U10	21名	
U9	13名	
U8	9名	
U7	8名	武田聡輔(夕ガ) 羽サカ 白川



「サッカーを通じて子どもたちに笑顔を♪」
 【手をかけ過ぎず、眼をかけて】
大切な子どもたち！まずは健康第一！
 育てて成長 声かけ励まし支えあいましょう！
 【子は宝 他人も我が子 地域の子】
 BGM 藤井さち代



夏の思い出

2023年度の合宿も無事に終わりました。子どもたち、指導部の頑張りのおかげです。U8は毎年恒例の宿題チェック。全員分の宿題は見る事ができていませんが、決められた口の枠のなかにきっちりと字を書く人、定規をつかって筆算問題を頑張る人、間違い直しにチャレンジする人、宿題だけでなく他の学習もがんばる人がいました。サッカーばかりでは、いけません。プラスの頑張りが“人としての成長”につながります。以下、3日間の合宿をふり返ります。

【サッカー】
 すばらしい天気のもと、ダイセル播磨光都第4グラウンドでリズムジャンプからスタートしました。年々子ども数が増えているため、少し手狭になってきていますがそれぞれの学年のもつ課題に合わせて練習を行いました。この日は、たまたま女子ワールドカップのベスト4をかけた戦いがテレビ中継であったので、随時お風呂に入りながらテレビ観戦で盛り上がりました。

2日目は交流戦です。須磨ナイスのために遠くは大阪、徳島から来ていただいたチームもありました。暑い中のゲーム、それぞれの学年のできたところ、できなかったところが子どもとコーチとで共有されたと思います。3日目は最後の練習。前半は、2日目のゲームから課題に沿った練習をしていました。後半は、紅白戦。コーチ陣も疲れを忘れて汗をいっしょに流しました。

【生活】
 まずは食事について。全体的に食が非常に細かった。しっかり食べることが体を作ることに繋がります。食事のバランスを教える機会はなかったので、お家の方をお願いします。お風呂に入る時には、体を洗い、脱衣場にいくときに体を拭くためのタオルが必要です。石けんだけをもって入る子どもが4年生で多数いました。ここは、家庭の力です。食事の片付け、洗濯物の干し方、スリッパやくつの脱ぎ方。マナーのこと、たくさん伝えています。

コロナ禍で外に出る機会が少なかった学年ですので、これから教えていくことがたくさんありますね。1日目の夜は学習会です。子どもたちの大すきなサッカーと生活を結び付けて「日常をかえること→サッカーがうまくなること」全てがつながっているんだという話をしています。

サッカーがうまくなって日常生活で良くないことをしていると“人として”成長はしません。面白くない、苦しい、分からない・・・そんな勉強も実は、みんなを成長させているんだということに気づいてもらうため、算数、ビジョントレーニング、チームビルディングトレーニングを行いました。

学校で好き勝手なことを、もしもしているなら、サッカーを続けていくのは難しいかもしれません。2日目の夜の会では
 6年生・・・サッカーって、どこを使うの？
 5年生・・・チームが一丸となるためには？
 4年生・・・自分をさらけ出す！をテーマに頭や体をつかって頑張りました。

【まとめ】
 いつもはチームごとに動いている子どもたちが学年を超えて生活する中で見いだせたものがあると思います。教え合いや協力体制、となりの人のサポート。“須磨ナイスサッカークラブ”の名を語るときに、自分勝手なことがチーム全体に影響することがある。

・自分で考えて判断すること・凡事徹底・一致団結学びがたくさんある合宿でした。
 6年生は全日、4・5年生はライオンズに向けて、学んだことを活かしていきましょう。

監督 有持哲治

